

2021 年 IEC トーマス・エジソン賞を受賞して

IEC TC 120 国際幹事
東芝エネルギーシステムズ株式会社
林 秀樹

2021 年 10 月に IEC 大会がアラブ首長国連邦のドバイで開催されました。10 月 2 日に開催された標準管理評議会 (SMB: Standardization Management Board) において、SMB 議長 (IEC 副会長) の Dr. Ralph Sporer 氏から 2021 年 IEC Thomas A. Edison Award を拝受いたしました。

このような権威のある賞をいただき大変光栄に思います。この賞は 2010 年に創設され、IEC の委員会の国際議長や国際幹事等のうち、委員会の効率的な運営を通じて顕著な成果を挙げた人物や、IEC に献身的なサービスや顕著な貢献をした人物に与えられるものです。今年は 4 名が受賞しました。私の受賞は TC 120 (電気エネルギー貯蔵システム) の国際幹事としての貢献が評価されたものです。これも、ひとえに TC 120 国内委員会、経済産業省 国際電気標準課、国内審議団体である (一社) 電気学会、そして IEC-APC 事務局の皆様のご支援、ご協力の賜物です。心より感謝申し上げます (コロナ下で国際対面式ができない中、右二つ目の写真は 10 月 20 日に行われた「令和 3 年度国内 IEC トーマス・エジソン賞表彰式」への Sporer SMB 議長のビデオメッセージの様子です)。

TC 120 は日本提案により 2012 年に設立されました。委員会設立前から国際電気標準課様、JISC、APC 様他いろいろな方々のご指導をいただきました。関連する TC や IEC の皆様や関係各国主要メンバとの議論を重ね、最終的に SMB 会議にて設立にこぎつけた時の感動は今でもはっきりと覚えております。今回は TC120 の国際幹事として本賞を受賞させて頂き、誠にうれしい思いがあります。

TC 120 では設立後 11 年に渡り電気エネルギー貯蔵システムに関する国際標準発行や数々の NP



《「令和3年度国内 IEC トーマス・エジソン賞表彰式」にて
左:遠藤産業標準調査会長、右:林 TC120 国際幹事》



《「令和3年度国内 IEC トーマス・エジソン賞表彰式」へ
の Sporer SMB 議長のビデオメッセージ》

提案を行ってまいりました。これら標準は電機産業に大きく貢献し得るもので、電気エネルギー貯蔵システムは、より安定な再生可能エネルギーの供給を行うとともに、今後ますます発展する将来技術としてSDGへも貢献しております。

私はTC 120の設立時から今日まで、初代国際幹事として5つのWGと議長諮問グループ(CAG)を組織し、また三つのJWG(TC 8-JWG 10, SC 8B-JWG 1, TC 69-JWG 15)と二つのメンテナンsteamを設立し、これらにより電気エネルギー貯蔵システムに関わる国際標準開発を推進して参りました。現代産業に欠かせない要素となっている電気エネルギー貯蔵システムの標準化にあたり、関連する組織との連携が益々重要になる中で、16のTC/SCとのリエゾン及びSystems Committee (SyC) Smart EnergyとのRメンバ関係の構築など、関連するTC/SC/AC/SyC等との協調関係の設立に特に注力して参りました(TC 21, SC 21A, TC 8, SC 8A, SC 8B, SC 8C, TC 57, TC 69, SyC Smart Energy 他)。現在TC 120の国際幹事として、これら関連組織と連携しつつ国際標準活動を推進しております。

また、TC 120の戦略ビジネスプランのCAG及び総会での定期的な見直し議論、国際議長交代に伴う選任・任命、国際標準化活動の普及・啓発のための国内外関連会議でのTC 120国際標準化活動の講演等も行参りました。

標準作成に関しましては、電気エネルギー貯蔵システムに関わるIEC 62933シリーズ開発に従事し、メンバとともにプロジェクトやWGの方向性を議論して参りました。これらは電力グリッドに接続する電気エネルギー貯蔵システムの「ユニットパラメータとテスト方式」、「計画と運用」、「環境関連事項」、「安全性の考慮」等に関係し、急速に発展を続ける現代社会の重要な国際標準となっております。

最後に、ご推薦を頂いたTC 120国内員会、電気学会、IEC-APC、経済産業省の皆様にお礼申し上げます。今後も、IECのさらなる発展に微力ながら尽力していく所存です。引き続き皆様からのご指導ご鞭撻を頂戴いたしたく何卒よろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。

以上